

小学校 4年

2つの折れ線グラフを比べて、変わり方について調べよう

阪南市立桃の木台小学校

教科	算数	単元名	折れ線グラフと表
----	----	-----	----------

本時のねらい

○2つの折れ線グラフを比較して、2つの数量の変化のようすについて考える。

本時で育む主な情報活用能力

C-STEP2, J-STEP2

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・折れ線グラフをタブレットで配付することで、拡大して数量の変化を見やすくしたり、グラフに直接書き込んだりして2つの数量を比較することができる。
- ・提出箱に自分の考えを提出することで、他の児童の考えを閲覧しやすい。

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。



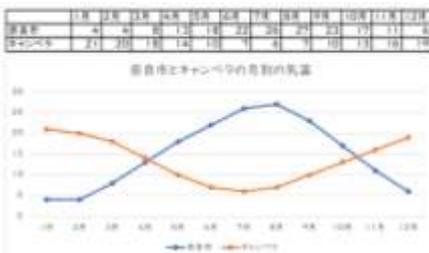
活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイノート
- ・スクリーン
- ・プロジェクタ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○本時のめあてを確認する。 「2つの折れ線をくらべて、変わり方について調べよう。」 【写真1】	
展開 (30分)	○2つの折れ線グラフを比較し、2つの数量の変化のようすを読み取る。 ・一番気温が高いところや低いところなどに着目して考え、書き込む。 ○交流する。 ・グループで話し合いをさせ、1つのシートに集約する。 【写真2】 ・各グループでまとめた内容を全体に向けて発表する。 【写真3】	・折れ線グラフを拡大して数値を読み取ることができる。 ・ロイノートの回答共有機能を活用し、話し合う。 ・提出箱をグループ単位に分け、自分のグループの提出箱を見ながら話し合う。
まとめ (10分)	○発表を見て感じた児童の意見をまとめる。 「2つの変わり方を1まいのグラフ用紙に表すと、変わり方の違いがわかりやすくなる。」 ・分かったこと、考えたことをノートに書く。	

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】課題として提示する、2つの折れ線グラフ（イメージ）

【写真2】グループで話し合い、それぞれの気づいたことを1枚のシートにまとめているようす

【写真3】まとめた内容を全体で発表するようす

児童生徒の反応や変容

- ・グラフの画像を拡大することができるので、数量の変化が見やすかった。
- ・グラフに色を変えるなどして書き込むことができるので、たくさんの考えをグラフに書き込みやすかった。
- ・グループで考えを交流したり、グループで話し合ったことを全体で共有したりしたので、自分が読み取っていなかった変化を見ることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・提出箱を班ごとに用意したので、グループの子の意見が見やすく、話し合いがしやすかったと思う。
- ・発表用のカードは、グループの1人が代表して他の子の意見を聞きつつ作成した。子ども達は代表の子のタブレットを覗き込みながらグループの考えをまとめた。
- ・複数の児童が同時に書き込み・入力ができる「共有ノート」の方が、グループの意見をまとめやすいかもしれないと感じた。